

40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21
鬼の居ぬ間に洗濯	鬼に金棒	小田原評定	驕る平家は久しからず	縁の下の力持ち	海老で鯛を釣る	江戸の敵を長崎で討つ	噂をすれば影	瓜の蔓に茄子はならぬ	馬の耳に念仏	鶉の真似をする鳥	嘘も方便	嘘つきは泥棒の始まり	嘘から出た誠	氏より育ち	牛にひかれて善光寺参り	魚心あれば水心	言わぬが花	一寸の虫にも五分の魂	一寸先は闇
オ	ツ	ク	タ	ト	ソ	ケ	セ	ス	ウ	シ	カ	工	キ	テ	イ	ア	チ	サ	コ

解答

ト	テ	ツ	チ	タ	ソ	セ	ス	シ	サ	コ	ケ	ク	キ	カ	オ	工	ウ	イ	ア
人に知られないところで他人のために努力や苦勞をするこ と。また、そのような人。	家柄の良さなどよりも育った環境のほうで、その人の人間 性に大きく影響し、大切だということ。	もともと強い存在が、何かを得ることでさらに強力になる ことのとえ。	口に出して言わない方が、味があるということ。また口に 出すと差し障るので言わないほうがいい。	思い上がってわがままに振る舞うものは、いつまでも栄え ていることはできずに、勢力も衰えて減びるということ。	少しの元手や努力で、大きな利益を得ることのとえ。	誰かの噂をしていると、その本人が現れることがあるとい うこと。	平凡な親からは平凡な子供しか生まれないことのとえ。	カラスが鶉を真似て魚を捕ろうとしても、うまくいかな い。身の程をわきまえず、人の真似をして失敗すること。	小さくて弱い者にも相応の意地があるのだから、どんな相 手であってもあなどってはいけない、ということ。	将来のことは、ちょっとさきのことでも全くわからないと いうこと。	意外なところで、昔の恨みを晴らすことのとえ。	意見が分かれていて、なかなかまとまらない相談や会議。	嘘で言っただけのことが、たまたま実現してしまうこと。	物事を順調に進めるためには、時と場合によっては嘘をつ くことも必要だということ。	怖い人やうるさく注意してくる人がいない間に、のんびり くつろぐこと。	平気でうそをつくようになると、やがては盗みも平気です るようになる。だから嘘はついてはいけないということ。	人の意見や忠告を聞き流してしまい、何とも思わないこと のとえ。	思わぬ偶然や他人の誘いで、良い結果を得たり、良いほう へと導かれること。	相手が好意を示すのならば、自分もそれに応じて、好意を もって対応しよう、ということ。

記号